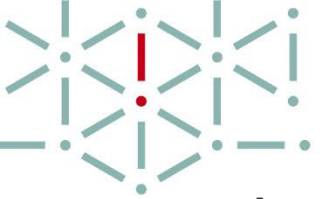


2023年3月期第2四半期 決算説明会

東京インキ株式会社

(証券コード：4635 東証スタンダード市場)

2022年11月25日開催



本日の内容

TOKYOink

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1. 東京インキについて | 【P2 ～ P8】 |
| 2. 連結業績ハイライト | 【P9 ～ P14】 |
| 3. 第2四半期連結業績予想と実績との差異 | 【P15 ～ P17】 |
| 4. セグメントの概況 | 【P18 ～ P23】 |
| 5. 通期連結業績予想の修正 | 【P24 ～ P29】 |
| 6. その他連結決算情報 | 【P30 ～ P32】 |
| 7. 株主還元 | 【P33 ～ P34】 |
| 8. 中期経営計画「TOKYOink 2024」について | 【P35 ～ P36】 |

くらしに豊かな色を

くらしを支える確かな製品をお届けします

1. 東京インキについて



2. 連結業績ハイライト

3. 第2四半期連結業績予想と実績との差異

4. セグメントの概況

5. 通期連結業績予想の修正

6. その他連結決算情報

7. 株主還元

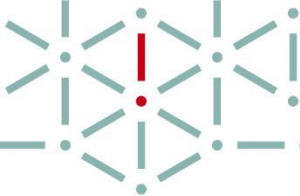
8. 中期経営計画「TOKYOink 2024」について

> 会社概要

> ネットワーク

> 企業理念と目指すべき企業像

> 暮らしの中の東京インキ



1. 会社概要

TOKYOink

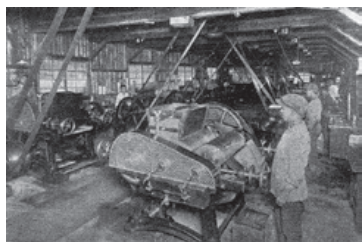
会社名

東京インキ株式会社

代表取締役社長

堀川 聡

2023年12月にて
設立 100周年



上場区分
(証券コード)

東京証券取引所スタンダード市場（4635）

本社住所

東京都北区王子一丁目12番4号TIC王子ビル

設立

1923年（大正12年）12月

資本金

32億4,612万円

主要な事業

- インキ事業 【主要製品】 オフセットインキ/グラビアインキ/インクジェットインク
- 化成品事業 【主要製品】 着色剤マスターバッチ/機能性付与添加剤マスターバッチ/着色コンパウンド/機能性コンパウンド
- 加工品事業 【主要製品】 ネットロン®/一軸延伸フィルム/土木資材/農業資材
- 不動産賃貸事業 北区王子本社ビル フロア賃貸/
埼玉県さいたま市戸建賃貸住宅「パレットパークタウン」 ほか

従業員数

（連結）718人 / （単体）585人

（2022年9月末時点）

* ネットロン®は三井化学(株)の登録商標です

1. ネットワーク

TOKYOink

支店
営業所

名古屋支店
大阪支店
福岡支店
札幌営業所
仙台営業所
新潟営業所
広島営業所
高松営業所

工場

羽生工場
吉野原工場
土岐工場
大阪工場
福岡工場

吉野原工場



土岐工場

大阪工場



羽生工場



本社



連結
子会社

国内

林インキ製造株式会社
荒川塗料工業株式会社
英泉ケミカル株式会社
ハヤシ化成工業株式会社
トーイン加工株式会社
東洋整機樹脂加工株式会社

海外

東京インキ(タイ)



東京インキ株式会社U.S.A.
東京インキ(タイ)株式会社
東京油墨貿易(上海)有限公司



企業理念

暮らしを彩る、
暮らしに役立つ
ものづくりで、
社会に貢献する。

——— ありたい姿

目指すべき 企業像

色彩を軸に、
市場が求める価値を
お客様と共に創造、
実現し続ける企業。

——— あるべき姿

人々の暮らしをより快適に、便利に、安全に。
地球に優しく。
豊かな暮らしと社会の発展に広く貢献する企業でありつづけます。

1. 暮らしの中の東京インキ インキ事業

TOKYOink

主要製品

オフセットインキ

グラビアインキ

インクジェットインク



暮らしの中で...

商業印刷

新聞の折り込みチラシや雑誌、カタログの印刷に



パッケージ

お菓子袋やトレーなどの食品包装に



住宅外壁

住宅外壁の意匠に



1. 暮らしの中の東京インキ 化成品事業

TOKYOink

主要製品

着色剤マスターバッチ



機能性付与添加剤
マスターバッチ



着色コンパウンド

機能性コンパウンド



暮らしの中で…

生活用品

シャンプーボトルやペットボトルのキャップなどの容器、
ショッピングバッグの着色に



自動車

自動車内外装の着色に



農業

農業資材の着色や
機能性付与に



1. 暮らしの中の東京インキ 加工品事業

TOKYOink

主要製品

ネトン®

一軸延伸フィルム

土木資材

農業資材



暮らしの中で...

包装資材

お菓子や野菜・果物の包装に



土木資材

道路の落石や土砂崩れ防止に



農業資材

ハウス部材に



水処理

水処理用資材に



1. 東京インキについて

2. 連結業績ハイライト

➤ 23年3月期第2四半期 連結業績ハイライト

3. 第2四半期連結業績予想と実績との差異

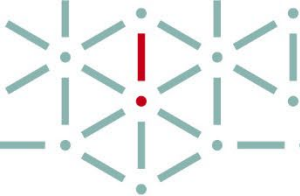
4. セグメントの概況

5. 通期連結業績予想の修正

6. その他連結決算情報

7. 株主還元

8. 中期経営計画「TOKYOink 2024」について



2. 23年3月期第2四半期 連結業績ハイライト

TOKYOink

(単位：百万円)

● 前年同四半期と比較し増収減益、第2四半期業績予想と比較し減収減益となった

	22年3月期2Q 21/9	構成比 (%)	23年3月期2Q 22/9	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)	2Q業績予想 22年5月13日公表値	業績予想 増減額	業績予想 増減率(%)
売上高	20,213	100.0	20,745	100.0	+531	+2.6	21,550	▲804	▲3.7
売上原価	16,780	83.0	18,027	86.9	+1,246	+7.4	-	-	-
売上総利益	3,432	17.0	2,718	13.1	▲ 714	▲ 20.8	-	-	-
販売費及び 一般管理費	2,983	14.8	2,827	13.6	▲ 156	▲ 5.2	-	-	-
営業利益(損失)	449	2.2	▲ 109	▲ 0.5	▲ 558	-	280	▲389	-
営業外損益	66	0.3	256	1.2	+189	+283.9	-	-	-
経常利益	515	2.6	147	0.7	▲ 368	▲ 71.5	355	▲207	▲ 58.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	411	2.0	113	0.5	▲ 297	▲ 72.3	275	▲161	▲ 58.6

2. 23年3月期第2四半期 連結業績ハイライト

TOKYOink

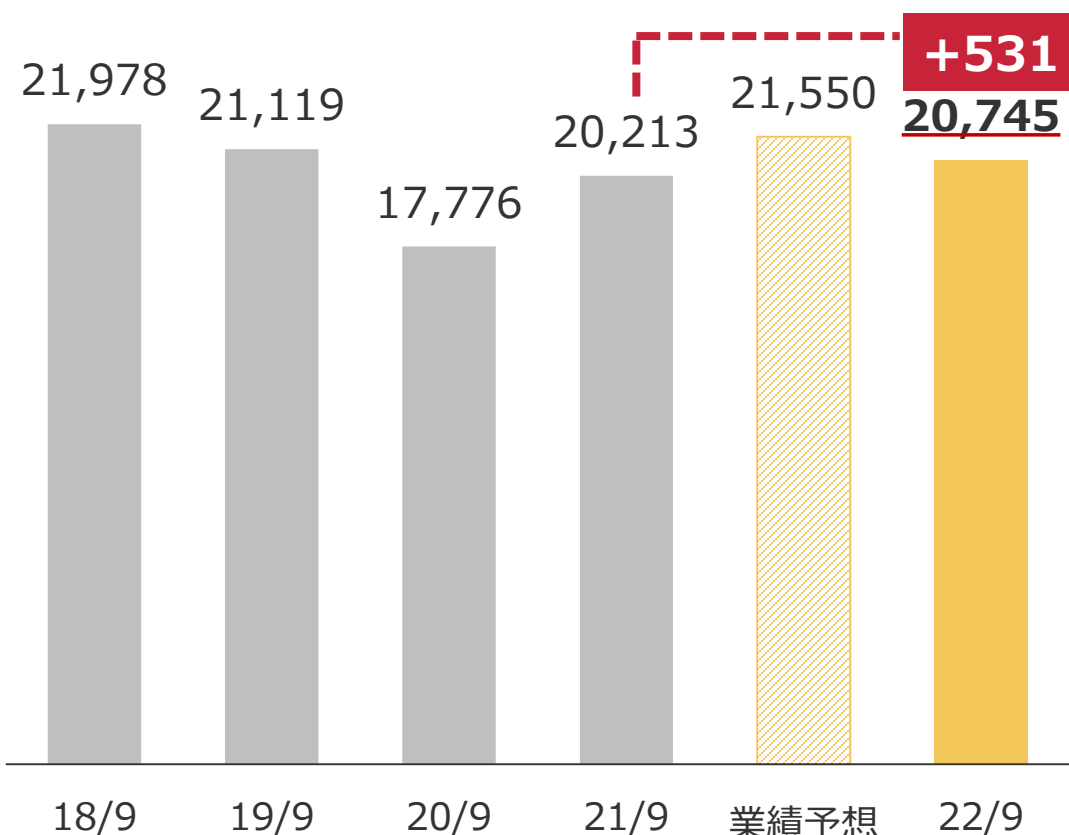
(単位：百万円)

売上高

20,745百万円

前年同四半期比 **+531**百万円 (+2.6%)

2Q業績予想比 **▲804**百万円 (▲3.7%)

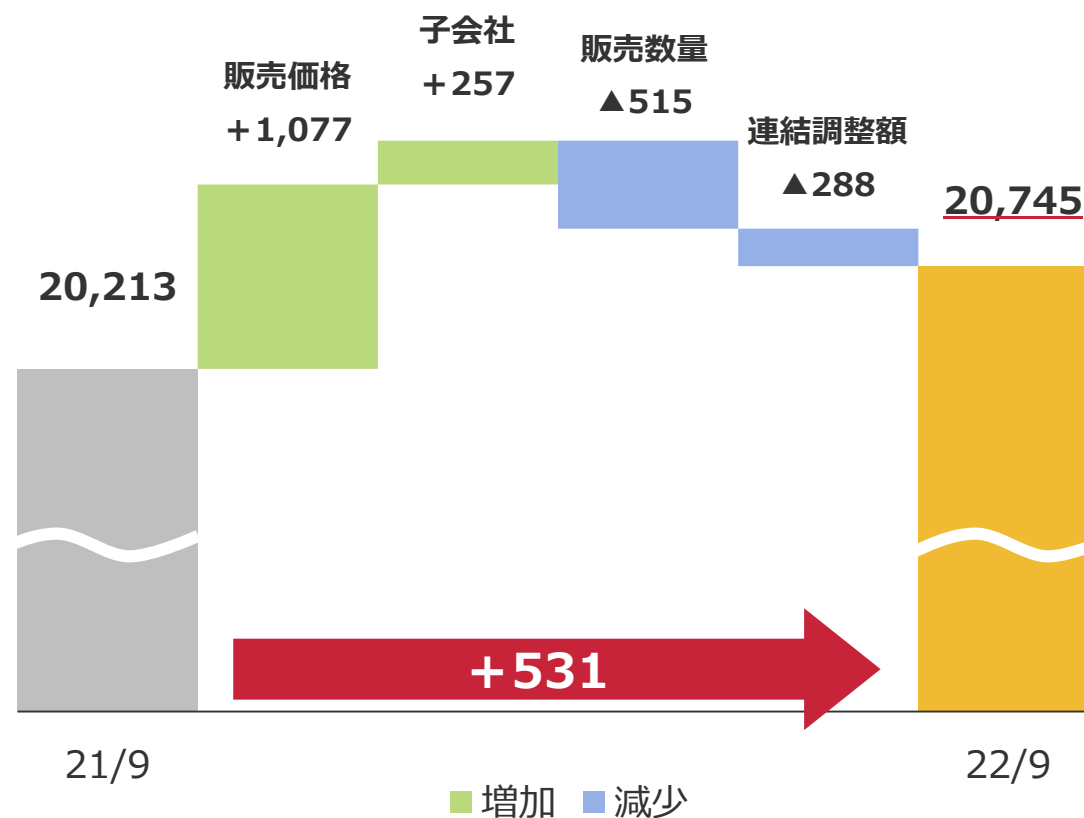


(※) 22年5月13日公表値

(※)

増減要因

- 前年同四半期に比べ販売数量減少であったが、原材料価格高騰に対応した販売価格の転嫁が一定程度進捗
- タイ連結子会社等の売上増加が寄与



2. 23年3月期第2四半期 連結業績ハイライト

TOKYOink

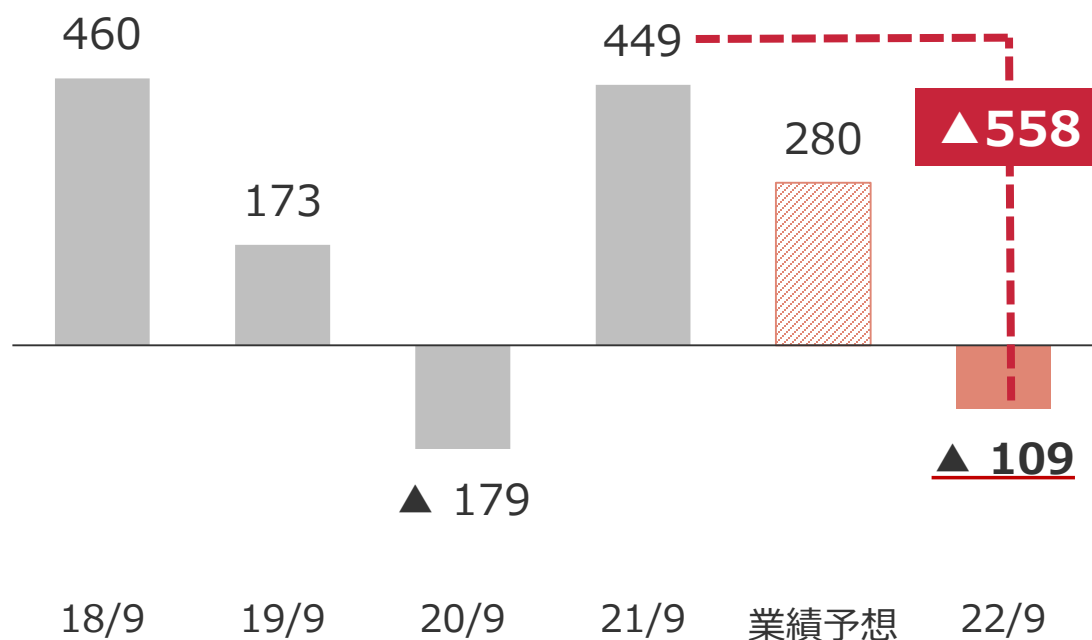
(単位：百万円)

営業利益 (損失)

▲109百万円

前年同四半期比 **▲558**百万円 (ー%)

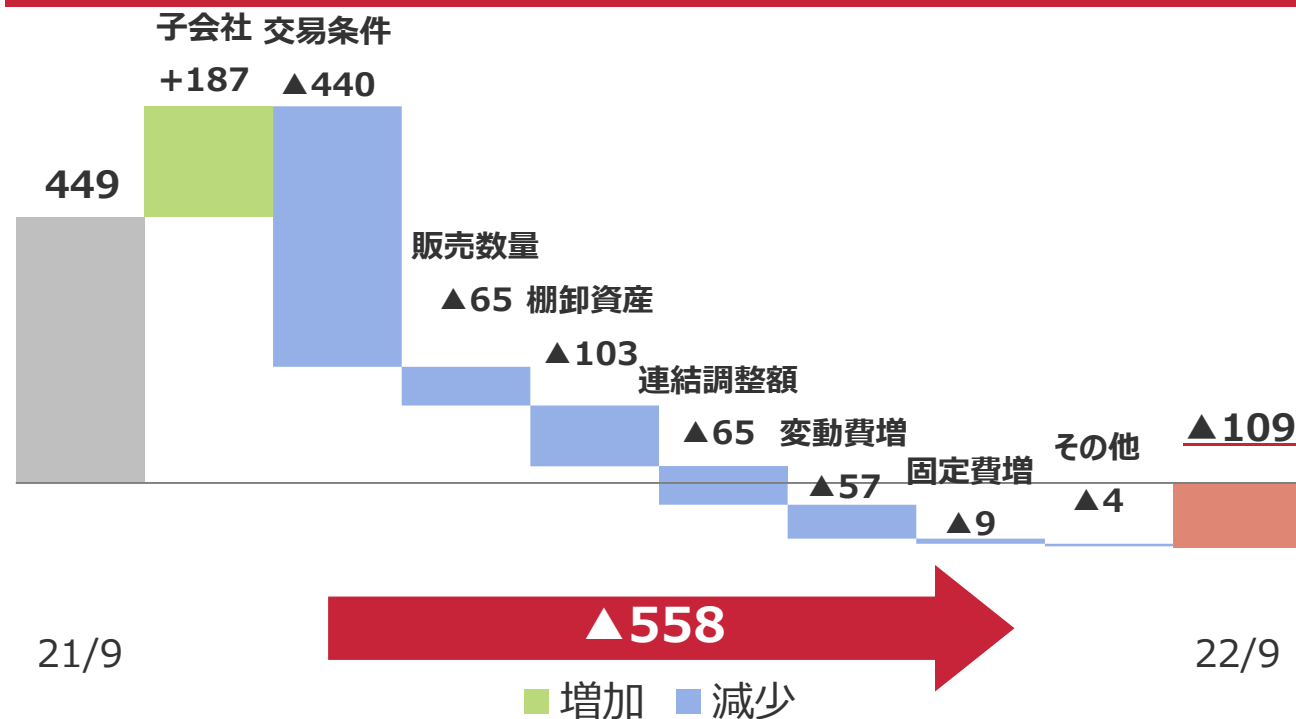
2Q業績予想比 **▲389**百万円 (ー%)

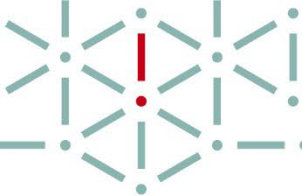


(※) 22年5月13日公表値

増減要因

- 原材料価格高騰の影響を受け、販売価格への転嫁を進めたが、その遅れにより採算性が低下し、交易条件が大幅に悪化
また、エネルギーコストの上昇による変動費が増加
- 化成品事業の主力である自動車用途が、半導体を主とする部品不足のため国内自動車生産の減産影響を受けたことも要因





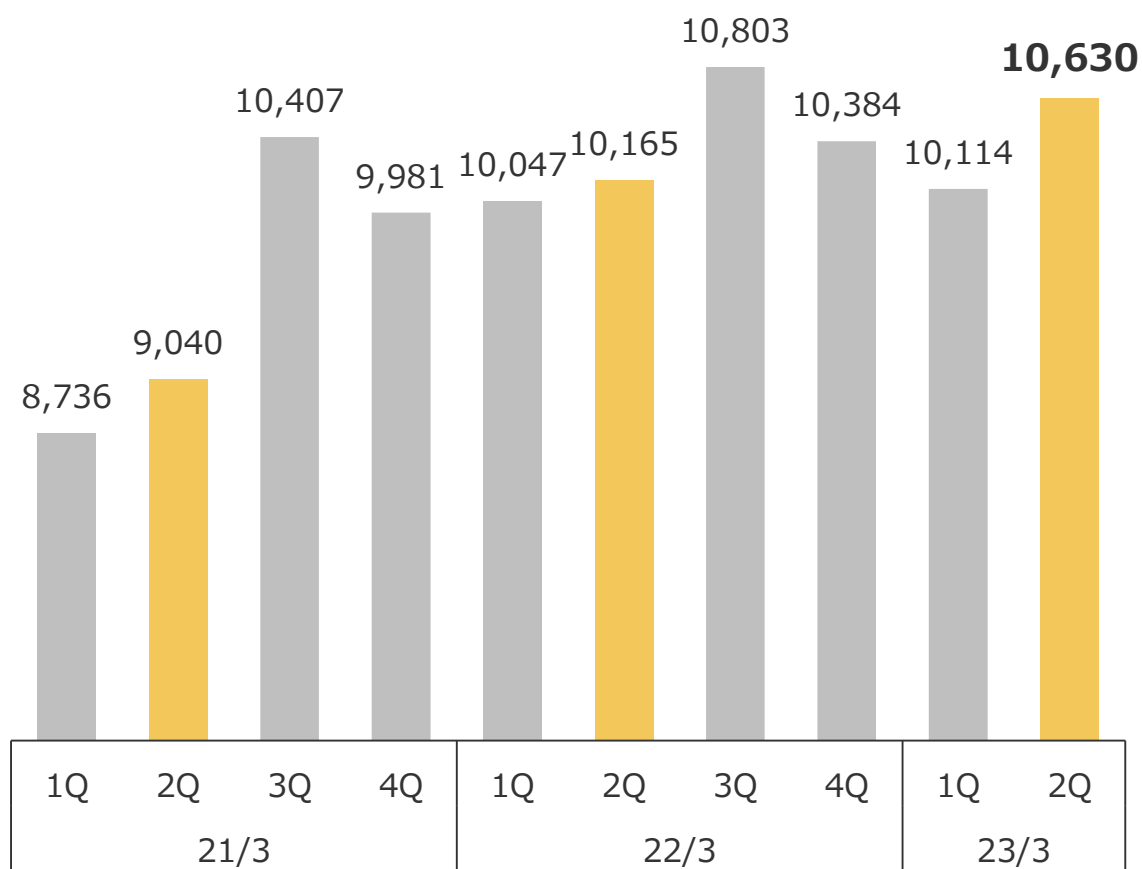
2. 23年3月期第2四半期 連結業績ハイライト

TOKYOink

(単位：百万円)

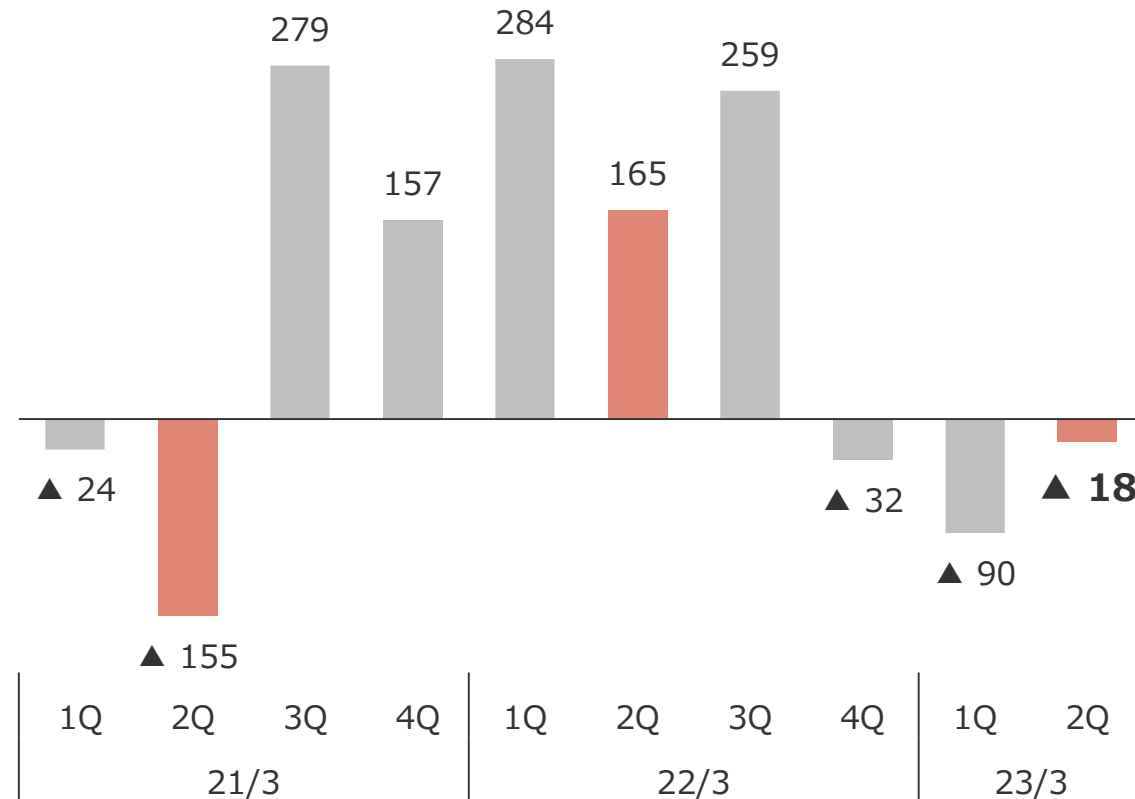
売上高

四半期推移



営業利益
(損失)

四半期推移



2. 23年3月期第2四半期 連結業績ハイライト

TOKYOink

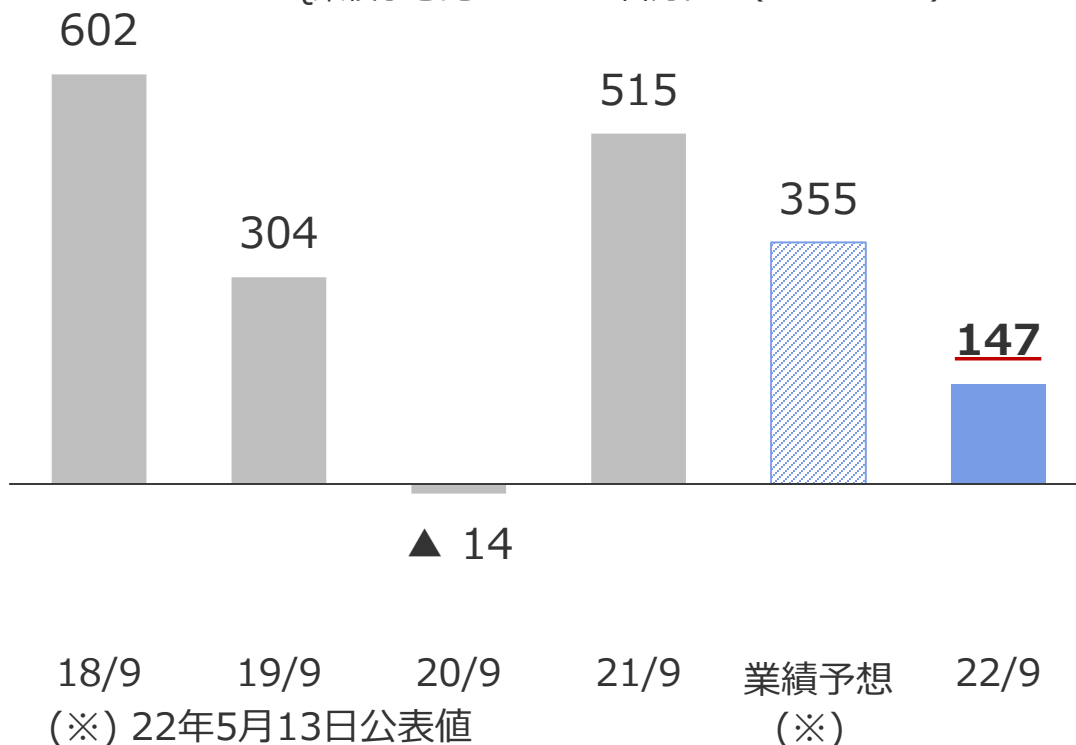
(単位：百万円)

● 営業外収益の計上が寄与したが、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益とも前年同四半期に比べ大幅減益

経常利益
(損失)

147百万円

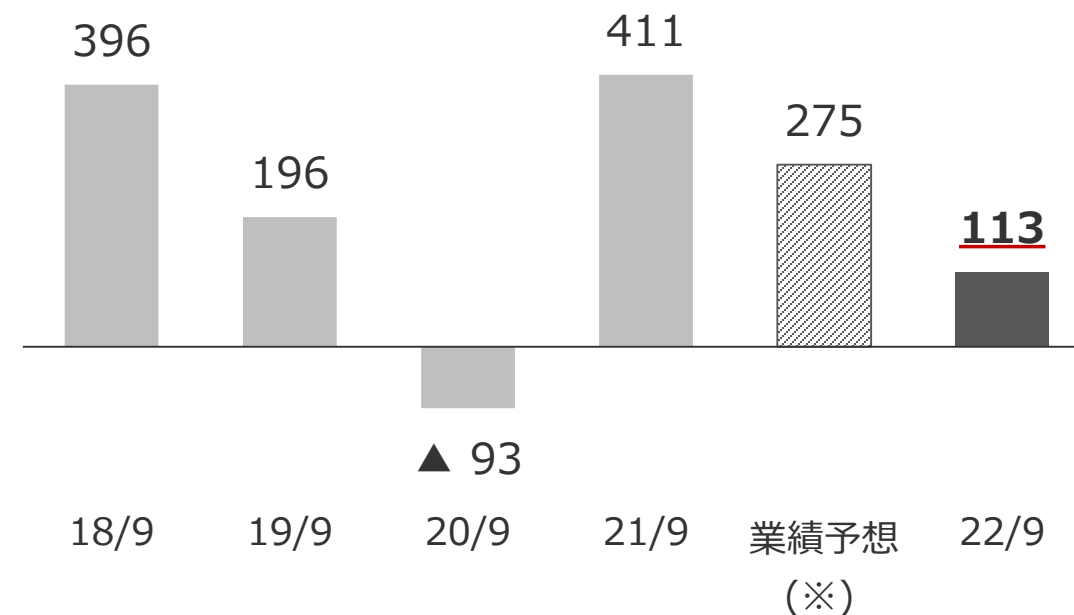
前年同四半期比 ▲**368**百万円 (▲**71.5%**)
2Q業績予想比 ▲**207**百万円 (▲**58.6%**)



親会社株主に帰属する
四半期純利益
(損失)

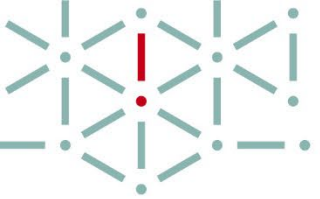
113百万円

前年同四半期比 ▲**297**百万円 (▲**72.3%**)
2Q業績予想比 ▲**161**百万円 (▲**58.6%**)



1. 東京インキについて
2. 連結業績ハイライト
- 3. 第2四半期連結業績予想と実績との差異**

4. セグメントの概況
5. 通期連結業績予想の修正
6. その他連結決算情報
7. 株主還元
8. 中期経営計画「TOKYOink 2024」について



3. 23年3月期第2四半期 第2四半期連結業績予想と実績との差異

TOKYOink

(単位：百万円)

	2Q業績予想 23年3月期	2Q実績 23年3月期	差額	達成率	第2四半期連結業績予想 達成率	
売上高	21,550 百万円	20,745 百万円	▲804 百万円	96.3%		
営業利益(損失)	280 百万円	▲109 百万円	▲389 百万円	— %	▲ 109	
経常利益	355 百万円	147 百万円	▲207 百万円	41.4%		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	275 百万円	113 百万円	▲161 百万円	41.4%		

23年3月期第2四半期連結業績予想(22年5月13日公表値)から売上高減少、営業利益は大幅な落込みとなり営業赤字

- ウクライナ情勢の緊迫化に伴う原油等資源価格の高止まりや、年初から過度の円安進行による影響大
- 原材料価格高騰に対応した販売価格への転嫁が十分でない状況やエネルギーコストの上昇および
化成品事業における採算性悪化

米国連結子会社の営業外収益等の計上により経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が黒字化するも、
営業損失の影響により第2四半期業績予想を下回る結果

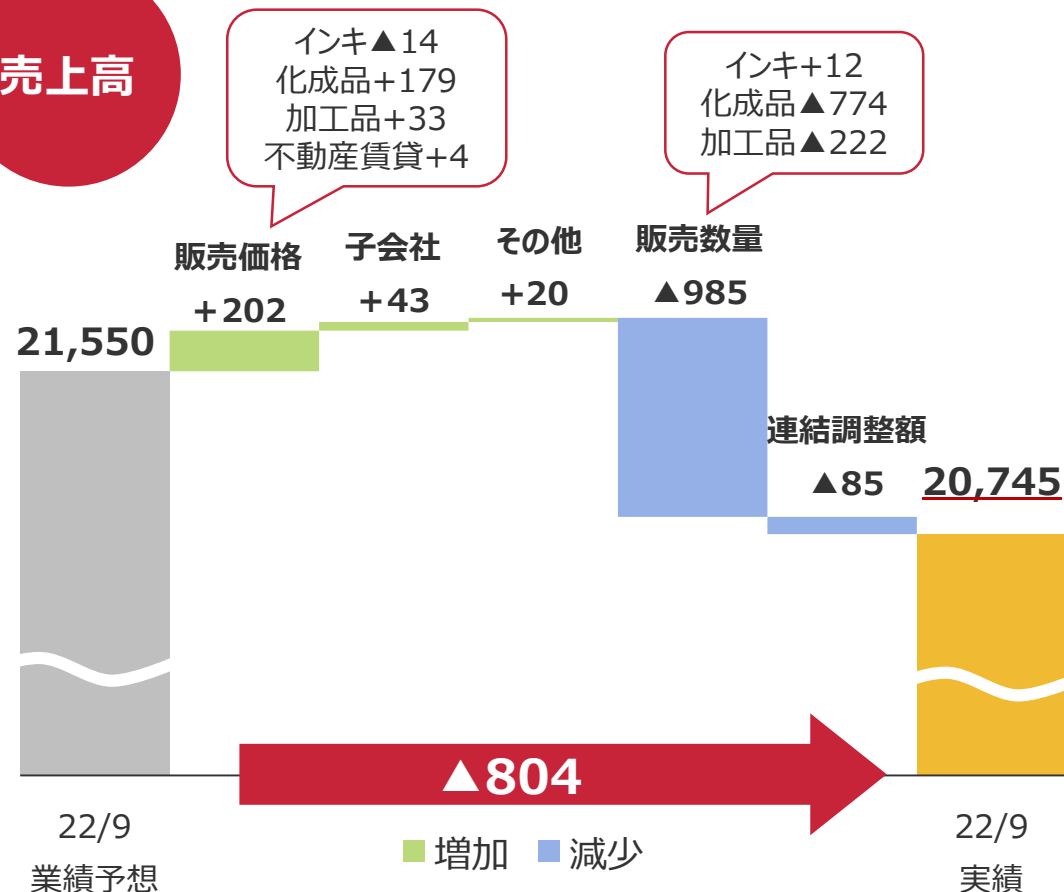
3. 23年3月期第2四半期 第2四半期連結業績予想と実績との差異

TOKYOink

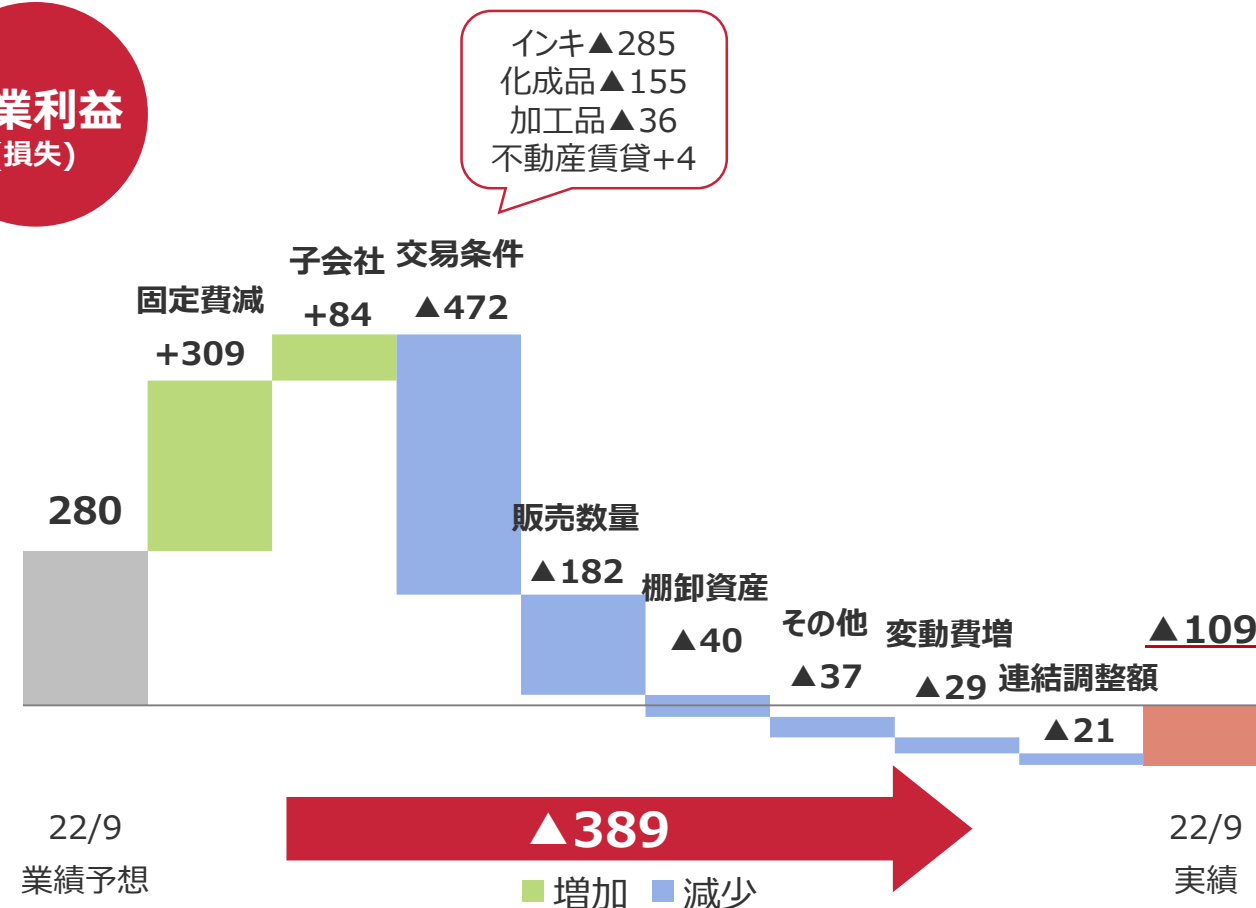
(単位：百万円)

- 販売価格
 - ・インキ事業：原材料価格高騰に対応した販売価格改定の遅れ
- 販売数量
 - ・化成品事業：国内自動車生産減産による影響大
 - ・加工品事業：土木資材の災害需要一服により減少

売上高



営業利益 (損失)



1. 東京インキについて
2. 連結業績ハイライト
3. 第2四半期連結業績予想と実績との差異

4. セグメントの概況

5. 通期連結業績予想の修正

6. その他連結決算情報

7. 株主還元

8. 中期経営計画「TOKYOink 2024」について

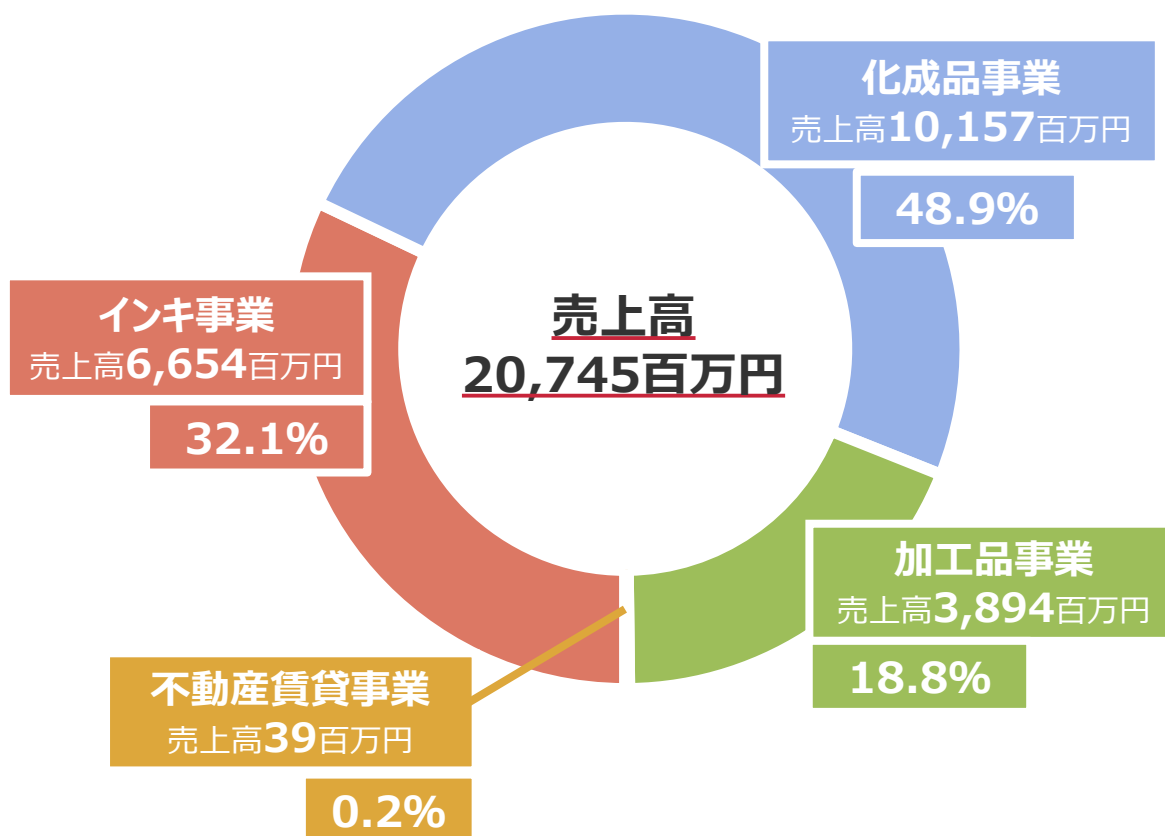
- > 23年3月期第2四半期 セグメント別業績サマリー
- > 23年3月期第2四半期 インキ事業
- > 23年3月期第2四半期 化成品事業
- > 23年3月期第2四半期 加工品事業
- > 23年3月期第2四半期 不動産賃貸事業

4. 23年3月期第2四半期 セグメント別業績サマリー

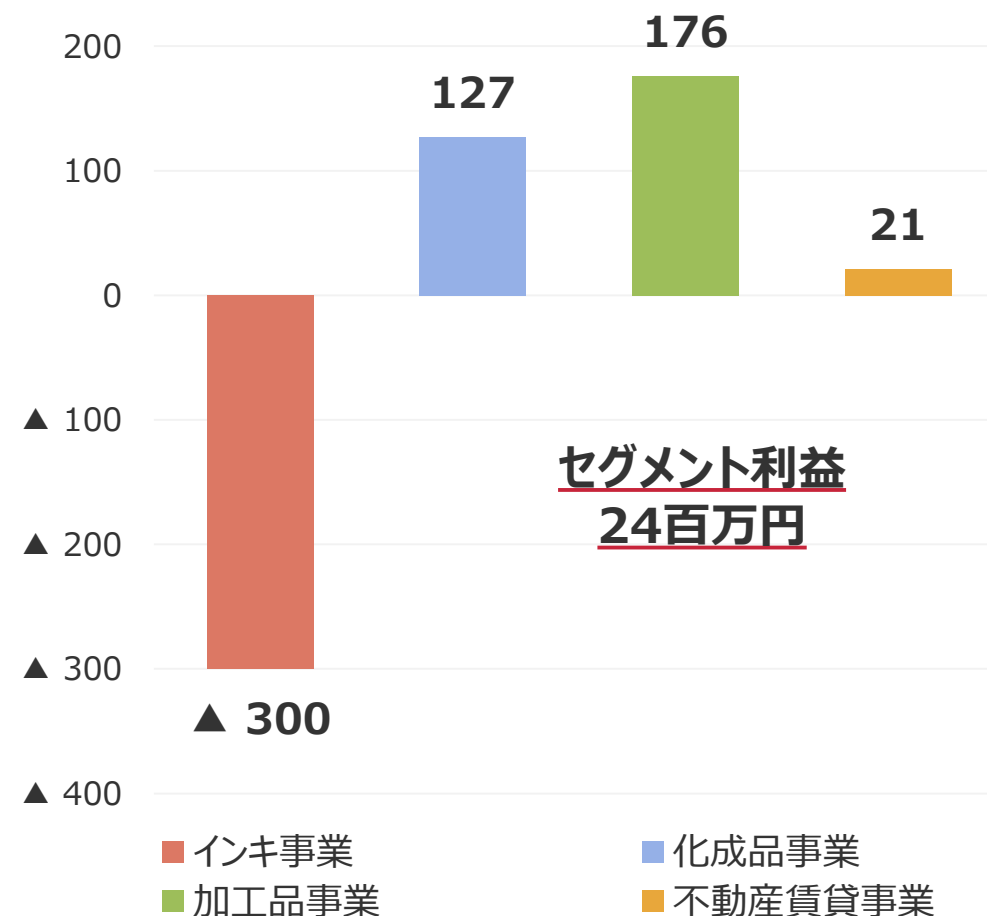
TOKYOink

(単位：百万円)

売上高 構成比



セグメント利益(損失)



※23年3月期より全社費用の区分見直し実施

4. 23年3月期第2四半期 インキ事業

TOKYOink

(単位：百万円)

インキ

●オフセットインキ

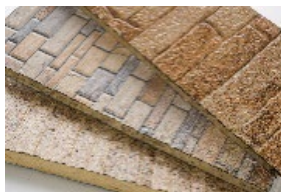
- ・印刷物市況（折込チラシ、旅行関連、イベント企画）が一定回復
- ・原材料価格高騰に対する製品価格改定遅れにより採算性低下

●グラビアインキ

- ・人流回復に伴い需要が一定回復
- ・機能性インキの新規拡販進展
- ・原材料価格高騰に対する製品価格改定不十分

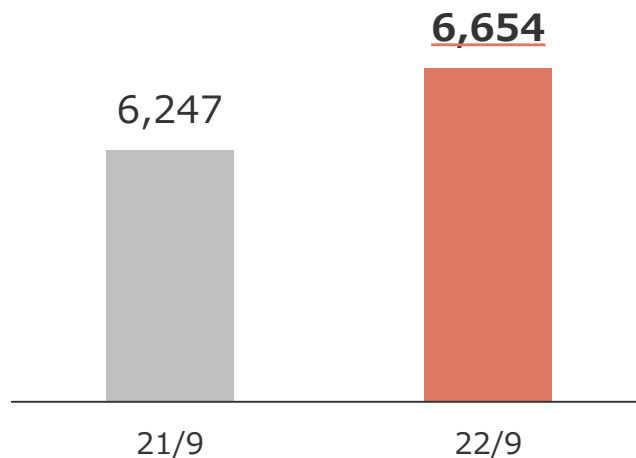
●インクジェットインク

- ・欧米向け受託製品需要弱含み
- ・建材用途・メディカル用途機能性インク好調

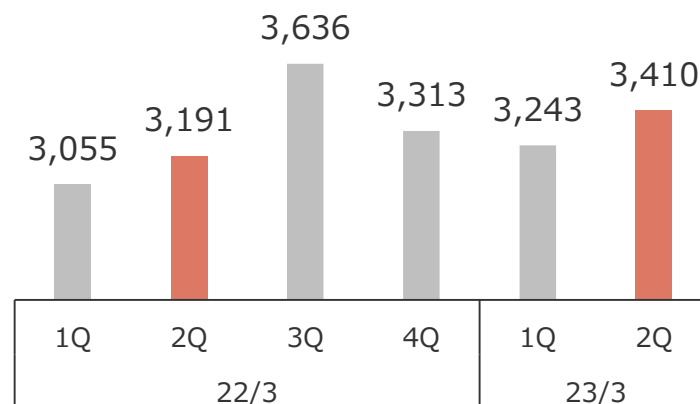


※23年3月期より全社費用の区分見直し実施に伴い、22年3月期における各事業のセグメント利益を区分見直しの数値に置き換え

売上高 **6,654**百万円
前年同四半期比 **+406**百万円 (+6.5%)

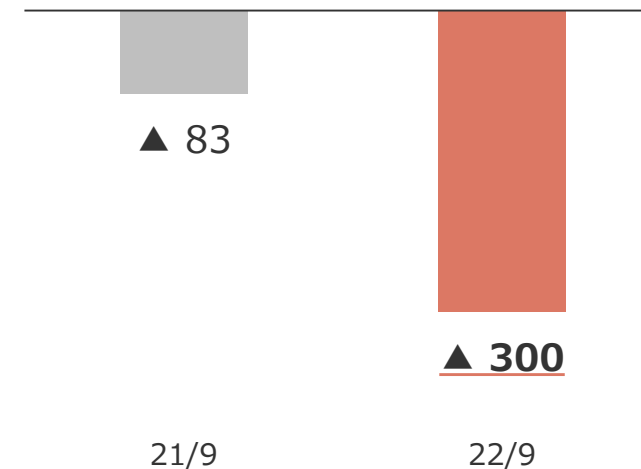


●四半期(前年対比)売上高

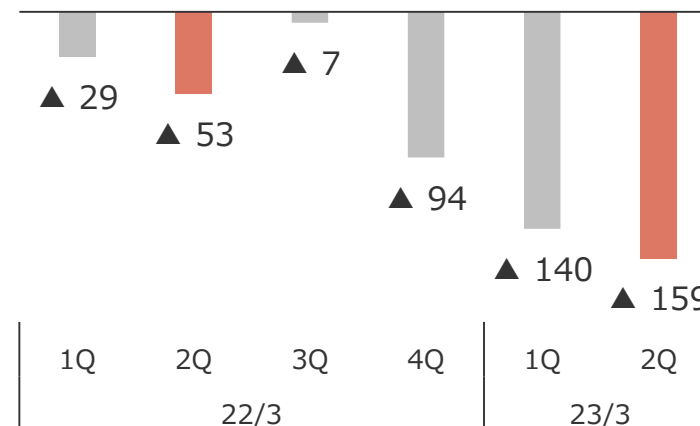


Copyright(c)2022 TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

セグメント利益 **▲300**百万円
(損失)
前年同四半期比 **▲217**百万円 (一%)



●四半期(前年対比)セグメント利益(損失)



4. 23年3月期第2四半期 化成品事業

TOKYOink

(単位：百万円)

化成品

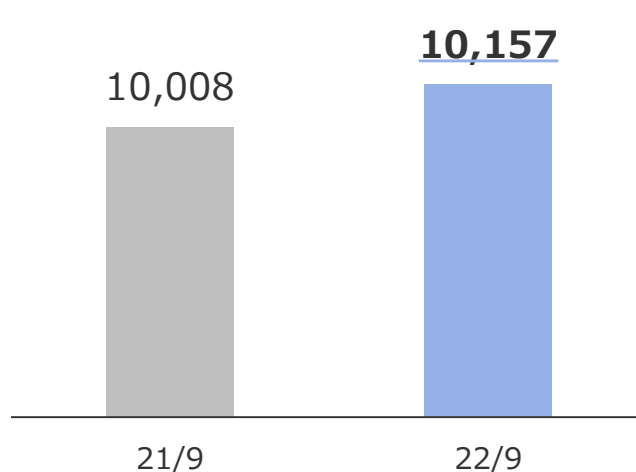
●マスターバッチ・樹脂コンパウンド

- ・自動車用マスターバッチおよび樹脂コンパウンド
⇒国内自動車生産の減産影響受ける
- ・包装材・容器用マスターバッチ
⇒社会経済活動正常化に伴い一定回復
- ・産業資材用途および環境配慮製品
⇒好調に推移



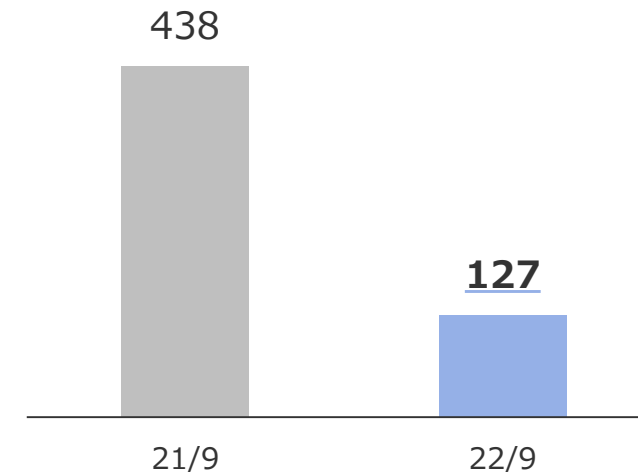
売上高 **10,157**百万円

前年同四半期比 +148百万円 (+1.5%)

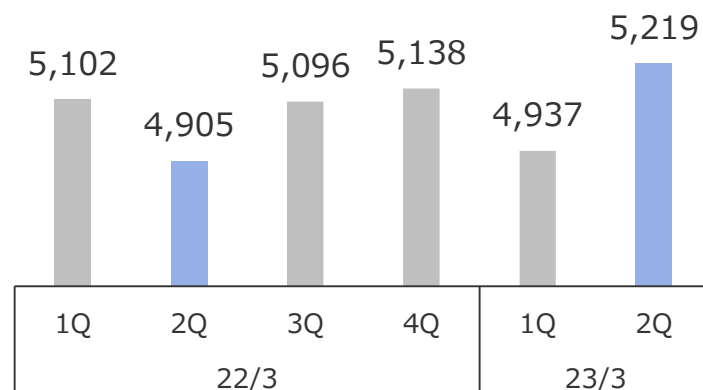


セグメント利益 **127**百万円

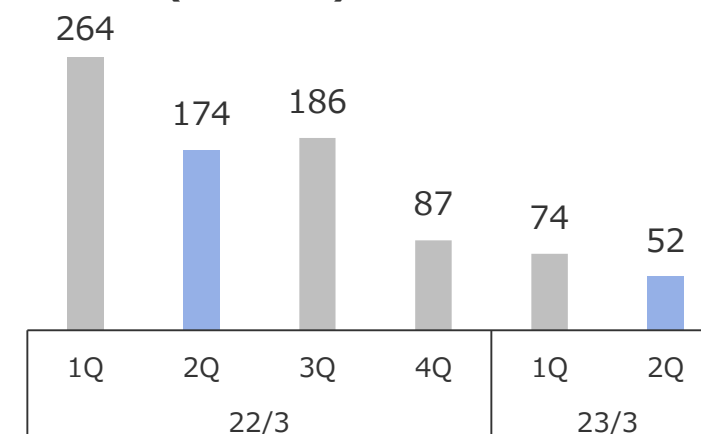
前年同四半期比 ▲311百万円 (▲71.0%)



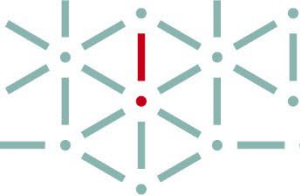
●四半期(前年対比)売上高



●四半期(前年対比)セグメント利益



※23年3月期より全社費用の区分見直し実施に伴い、22年3月期における各事業のセグメント利益を区分見直しの数値に置き換え



4. 23年3月期第2四半期 加工品事業

TOKYOink

(単位：百万円)

加工品

製品価格改定が一定程度進捗

●ネトロン工材

・水処理用資材の輸出需要堅調

●ネトロン包材

・農水産物向けが底堅く推移

●一軸延伸フィルム

・社会経済活動の正常化に伴い包材需要回復
・工業用途の輸出案件好調

●土木資材

・災害復興需要が一服

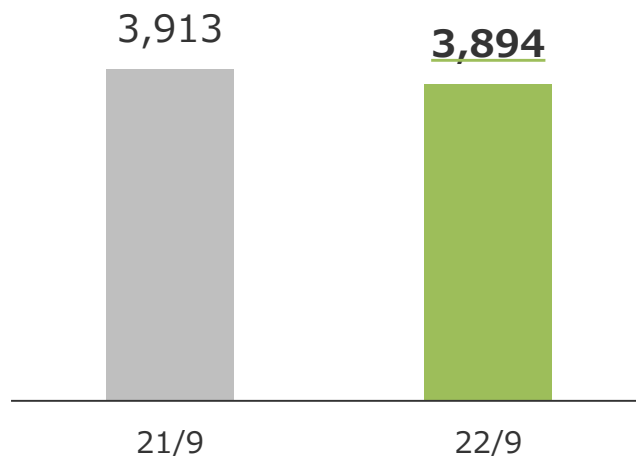
●農業資材

・燃料価格高騰に伴い高い保温性を有する
高機能内張カーテンが好調に推移

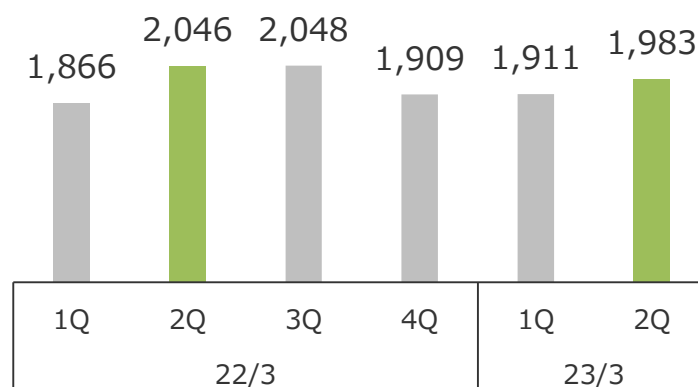


※23年3月期より全社費用の区分見直し実施に伴い、
22年3月期における各事業のセグメント利益を
区分見直しの数値に置き換え

売上高 **3,894**百万円
前年同四半期比 ▲18百万円 (▲0.5%)

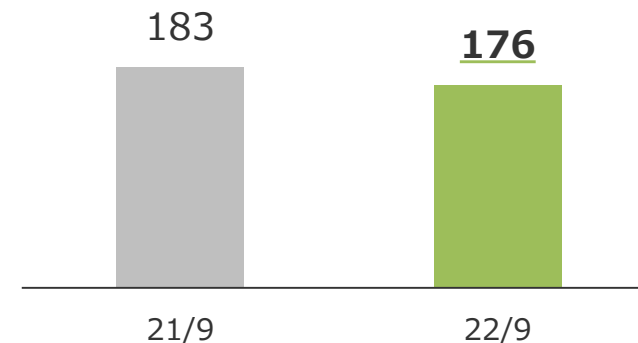


●四半期(前年対比)売上高

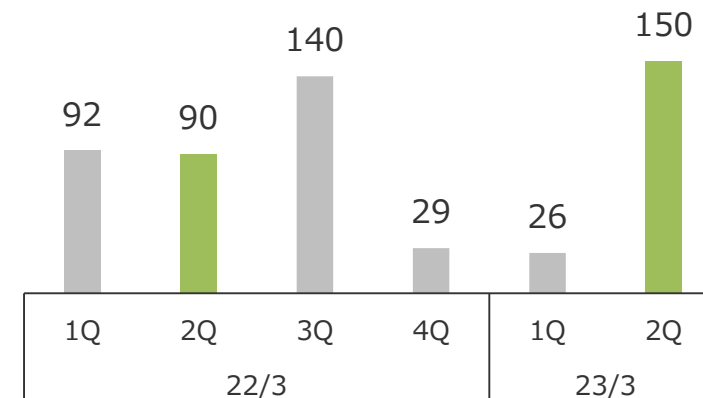


Copyright(c)2022 TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

セグメント利益 **176**百万円
前年同四半期比 ▲6百万円 (▲3.5%)



●四半期(前年対比)セグメント利益



4. 23年3月期第2四半期 不動産賃貸事業

TOKYOink

(単位：百万円)

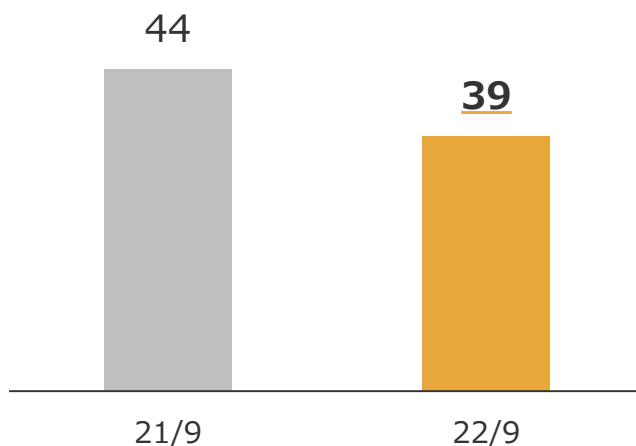
不動産賃貸

・戸建賃貸住宅「パレットパークタウン」および
本社ビル賃貸オフィス稼働が堅調に推移

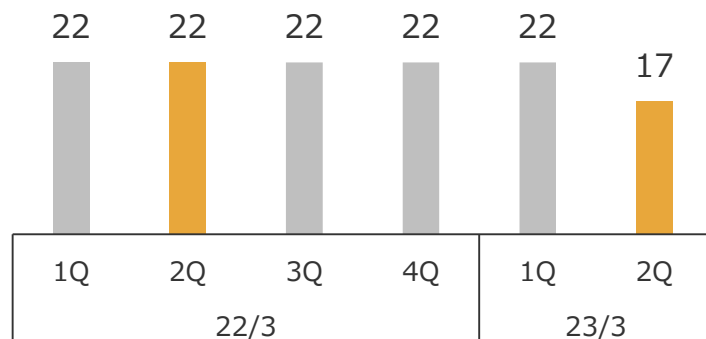


※23年3月期より全社費用の区分見直し実施に伴い、
22年3月期における各事業のセグメント利益を
区分見直しの数値に置き換え

売上高 **39**百万円
前年同四半期比 ▲4百万円 (▲11.2%)

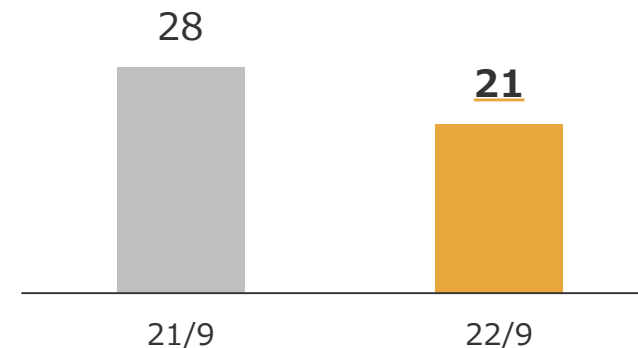


●四半期(前年対比)売上高

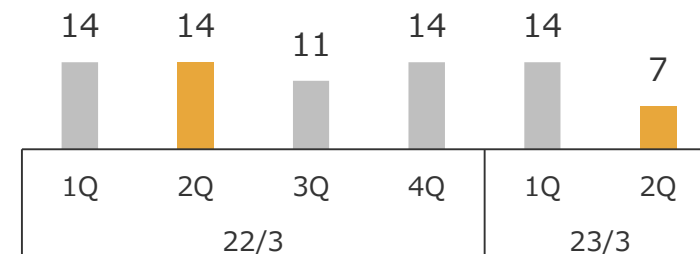


Copyright(c)2022 TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

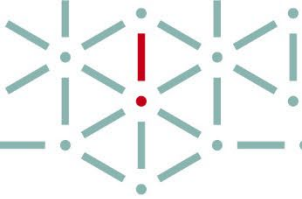
セグメント利益 **21**百万円
前年同四半期比 ▲6百万円 (▲24.3%)



●四半期(前年対比)セグメント利益

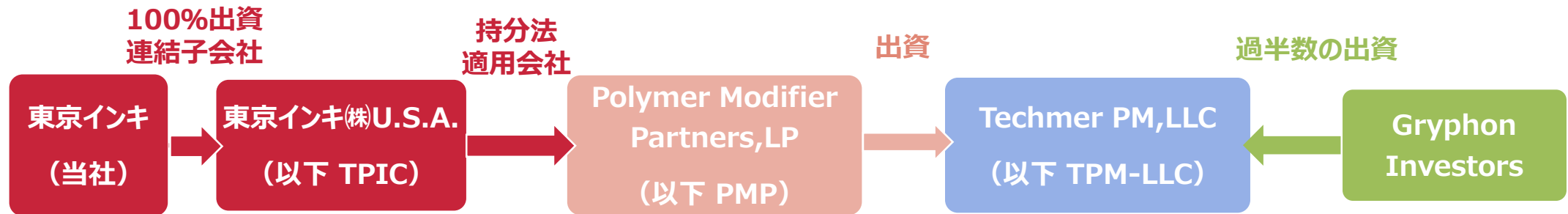


1. 東京インキについて
2. 連結業績ハイライト
3. 第2四半期連結業績予想と実績との差異
4. セグメントの概況
5. **通期連結業績予想の修正**
6. その他連結決算情報
7. 株主還元
8. 中期経営計画「TOKYOink 2024」について



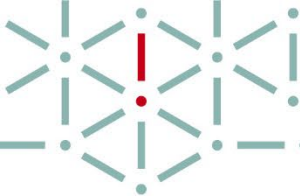
5. 23年3月期 通期連結業績予想の修正

営業外収益（出資分配益）計上見込について（22年9月30日公表）



- 当社の米国連結子会社TPICが出資している持株会社PMPの出資先である TPM-LLCは、グローバル市場での競争力強化と更なる事業成長の加速を目的としてプライベートエクイティファームである Gryphon Investors から過半数の出資を受入
- 当社23年3月期第3四半期にて、TPIC の PMP に対する持分法に伴う出資分配益 34 百万米ドル（円貨換算48億円※）を営業外収益に計上見込み
- 本件に関する会計処理について、米国での税金費用及び税効果会計等の影響額を確認中

※出資分配益の円貨換算額は今後の為替動向で変動する可能性有り

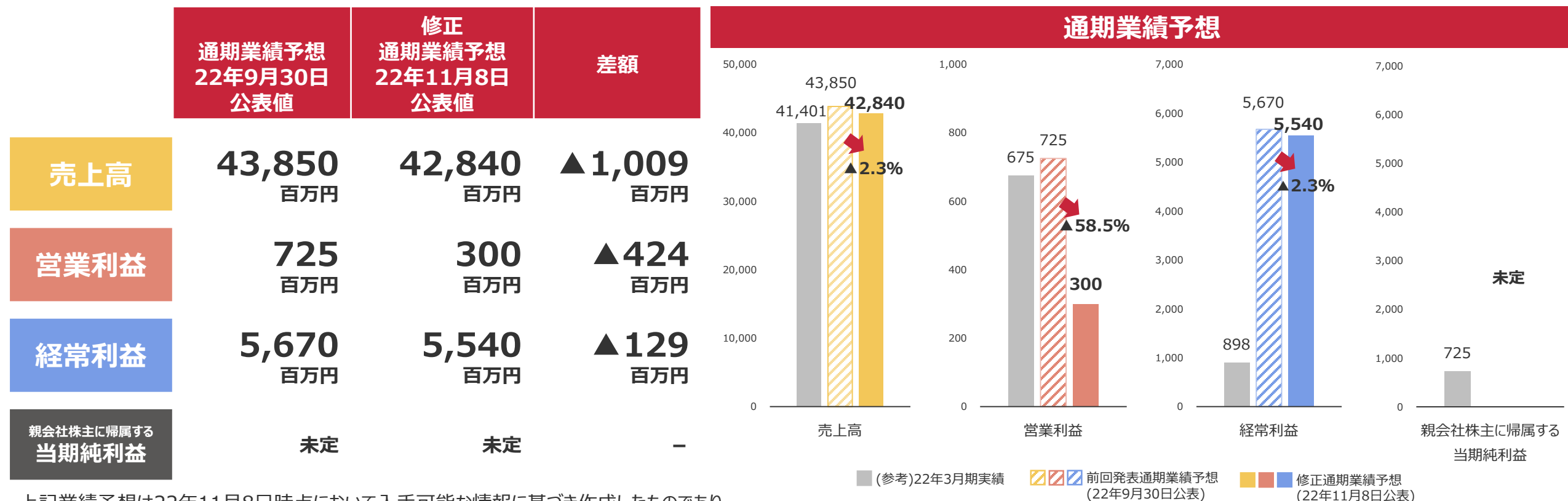


5. 23年3月期 通期連結業績予想の修正

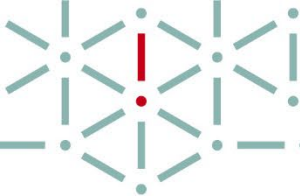
TOKYOink

(単位：百万円)

- 厳しい事業環境が一定期間継続する事を考慮し、売上高、営業利益及び経常利益を下方修正
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、米国連結子会社TPICの出資分配益（第3四半期計上見込み）による米国税金費用及び税効果会計等の影響額を現在確認中であるため、未定



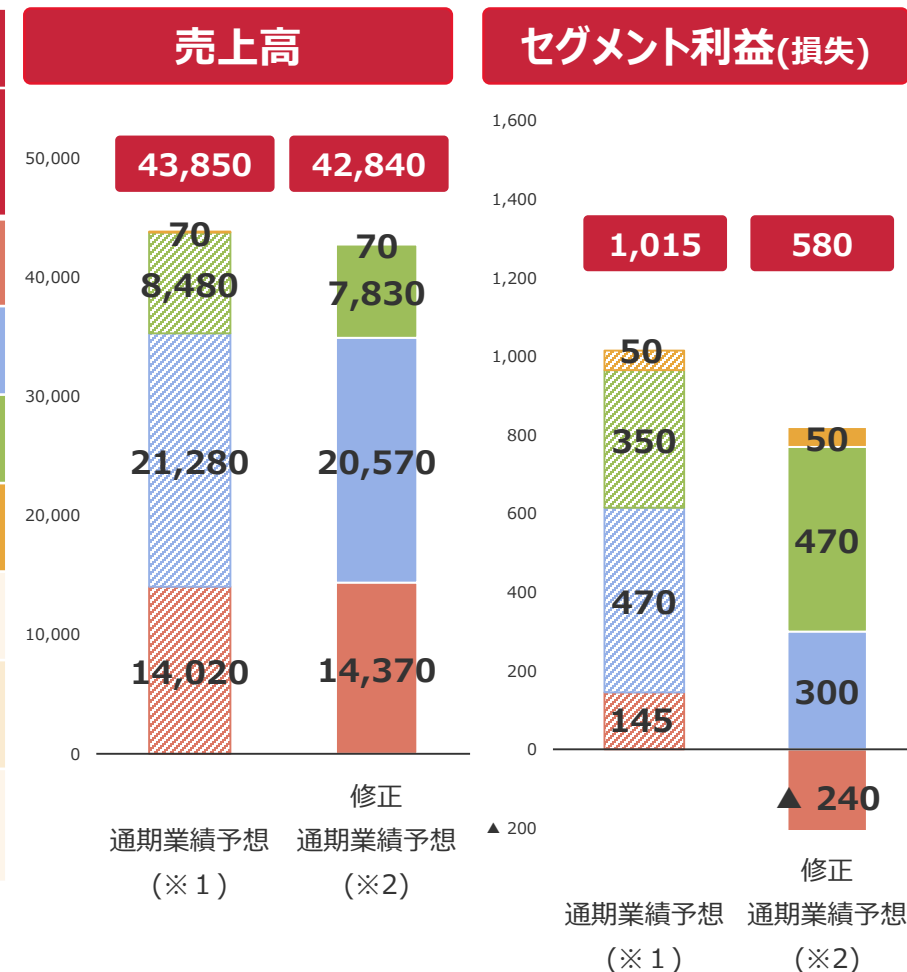
上記業績予想は22年11月8日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績等は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります



5. 23年3月期 通期連結業績予想の修正

●セグメント別業績予想修正値

	売上高			セグメント利益(損失)		
	通期業績予想 (※1)	修正 通期業績予想 (※2)	差額	通期業績予想 (※1)	修正 通期業績予想 (※2)	差額
インキ事業	14,020	14,370	+350	145	▲240	▲385
化成品事業	21,280	20,570	▲710	470	300	▲170
加工品事業	8,480	7,830	▲650	350	470	+120
不動産賃貸事業	70	70	—	50	50	—
セグメント合計	43,850	42,840	▲1,010	1,015	580	▲435
全社費用他 (※3)	—	—	—	▲290	▲280	+10
連結合計 (営業利益)	43,850	42,840	▲1,010	725	300	▲425



インキ 化成品 加工品 不動産賃貸

(※1)22年5月13日公表値

(※2)22年11月8日公表値

(※3)全社費用は主に事業セグメントに属さない一般管理費

5. 23年3月期 通期連結業績予想の修正

インキ事業

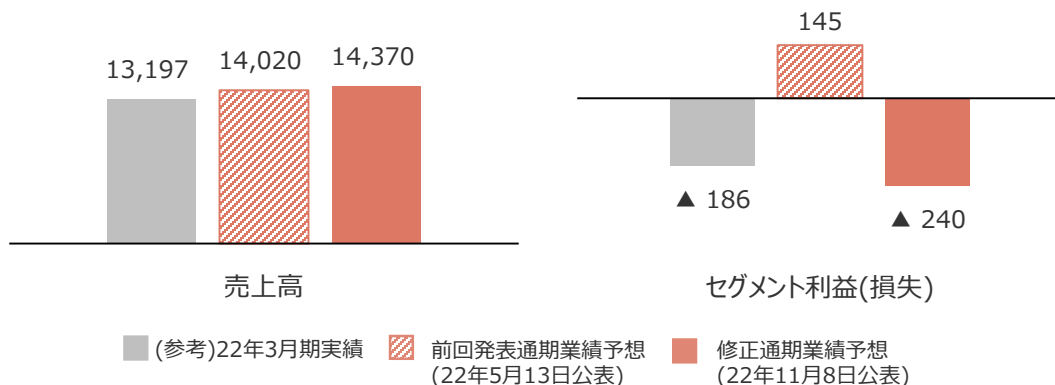
通期業績予想 22年5月13日公表値	修正 通期業績予想 22年11月8日公表値	差額	増減率
-----------------------	-----------------------------	----	-----

売上高

14,020 百万円	14,370 百万円	+350 百万円	+2.5%
---------------	---------------	-------------	-------

セグメント利益 (損失)

145 百万円	▲240 百万円	▲385 百万円	— %
------------	-------------	-------------	-----



- 今後の事業環境予想
⇒ 社会経済活動正常化に伴う緩やかな需要回復
- 下期の取組み
⇒ 下期は原材料価格高騰に対応した製品価格改定の推進実施により一層の収益回復に向けた活動取組み
- 今後の取組み
⇒ 製品ポートフォリオの再構築を進めることで、収益力の向上を目指す

化成品事業

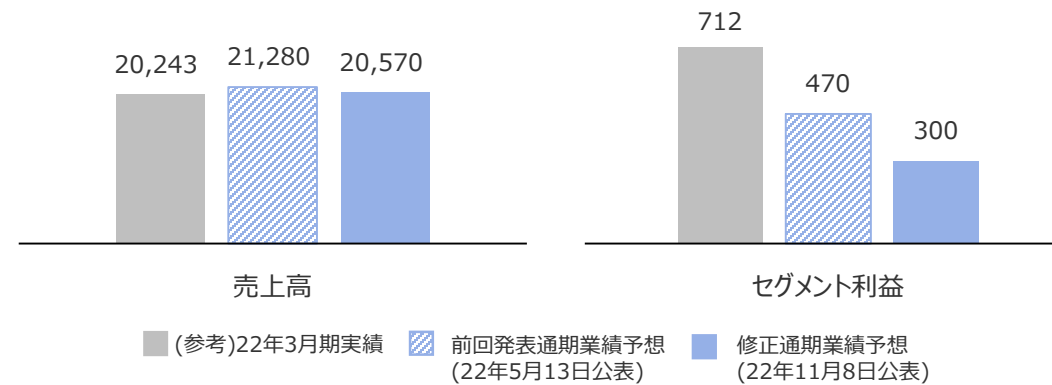
通期業績予想 22年5月13日公表値	修正 通期業績予想 22年11月8日公表値	差額	増減率
-----------------------	-----------------------------	----	-----

売上高

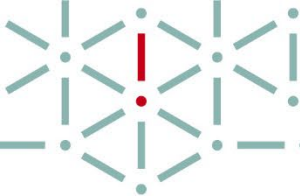
21,280 百万円	20,570 百万円	▲710 百万円	▲3.3%
---------------	---------------	-------------	-------

セグメント利益

470 百万円	300 百万円	▲170 百万円	▲36.2%
------------	------------	-------------	--------



- 今後の事業環境予想
⇒ 半導体不足による自動車生産の減産影響が第3四半期以降も継続
- 下期の取組み
⇒ 原材料価格高騰に対応した製品価格改定の推進実施により上期並みを想定
- 今後の取組み
⇒ 昨今の脱プラスチック等環境問題への関心を機会と捉え、バイオプラスチックベースの着色剤等環境配慮型の製品開発・拡販やリサイクル材を活用促進したサーキュラーエコノミーに貢献する事業の推進



5. 23年3月期 通期連結業績予想の修正

TOKYOink

加工品事業

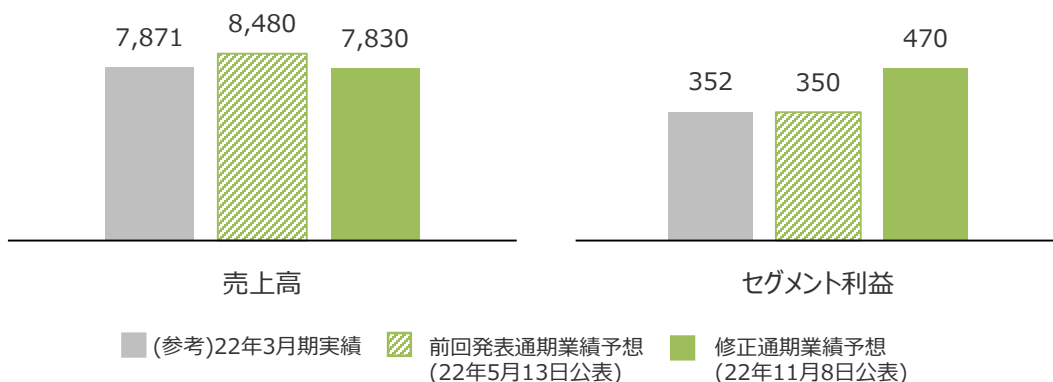
通期業績予想 22年5月13日公表値	修正 通期業績予想 22年11月8日公表値	差額	増減率
-----------------------	-----------------------------	----	-----

売上高

8,480 百万円	7,830 百万円	▲650 百万円	▲7.7%
--------------	--------------	-------------	-------

セグメント利益

350 百万円	470 百万円	+120 百万円	+34.3%
------------	------------	-------------	--------



●今後の事業環境予想

⇒災害復興関連の土木資材の年度内需要回復等により、概ね当初業績予想通りに推移していく見込み

●今後の取組み

⇒包装資材についてはプラスチック製品に係る環境問題への関心、農業資材については燃料価格高騰に伴う生産コスト削減ニーズの高まりを機会と捉え、環境に配慮した製品や高機能遮熱農材の開発・拡販

不動産賃貸事業

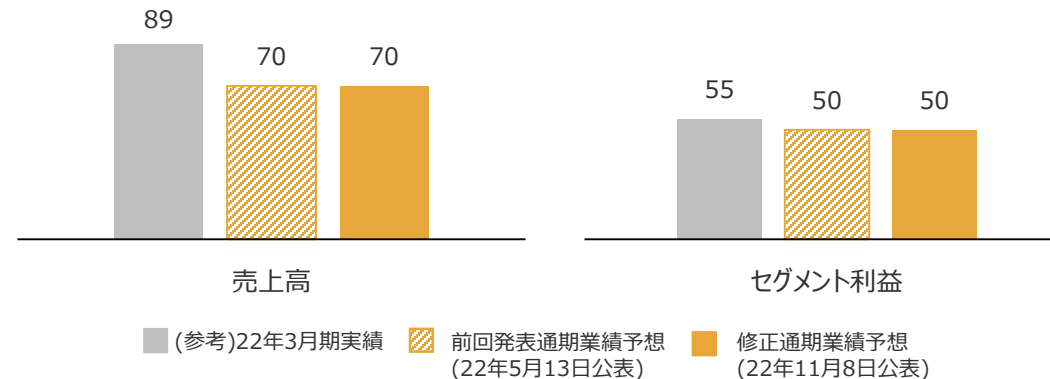
通期業績予想 22年5月13日公表値	修正 通期業績予想 22年11月8日公表値	差額	増減率
-----------------------	-----------------------------	----	-----

売上高

70 百万円	70 百万円	— 百万円	— %
-----------	-----------	----------	-----

セグメント利益

50 百万円	50 百万円	— 百万円	— %
-----------	-----------	----------	-----



●業績予想の修正無し

1. 東京インキについて
2. 連結業績ハイライト
3. 第2四半期連結業績予想と実績との差異
4. セグメントの概況
5. 通期連結業績予想の修正
6. **その他連結決算情報**
 - ▶ 連結貸借対照表
 - ▶ 連結キャッシュ・フロー
7. 株主還元
8. 中期経営計画「TOKYOink 2024」について

6. 23年3月期第2四半期 連結貸借対照表

TOKYOink

(単位：百万円)

資産の部

負債・純資産の部

資産

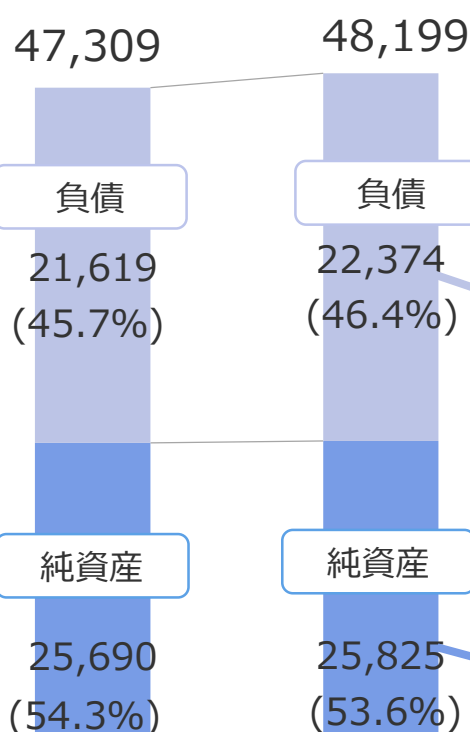
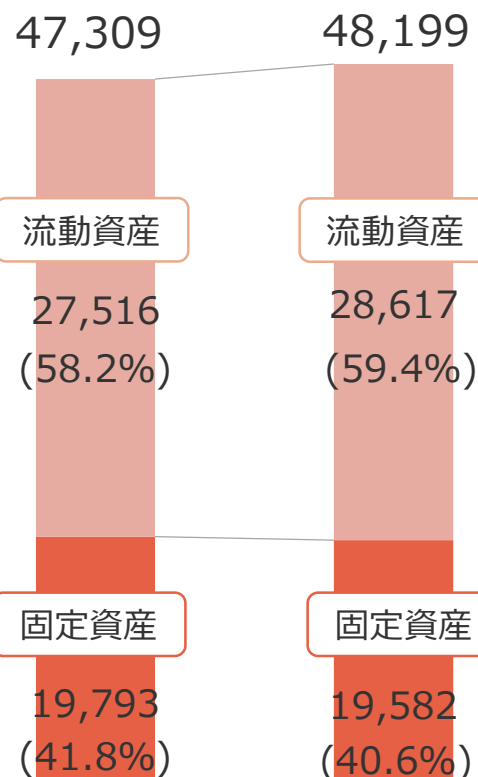
前期末比+890百万円 (+1.9%)

●流動資産

- ・手許流動性確保継続による現預金の増加
- ・棚卸資産の増加

●固定資産

- ・保有株式評価減



負債

前期末比+755百万円 (+3.5%)

- ・原材料価格高騰に伴う仕入債務の増加
- ・長期借入約定返済見合い、流動資産増加による短期借入金の増加

純資産

前期末比+135百万円 (+0.5%)

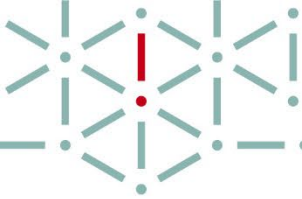
純資産増も、総資産増により
自己資本比率前期末比0.7ポイント減

22/3

22/9

22/3

22/9

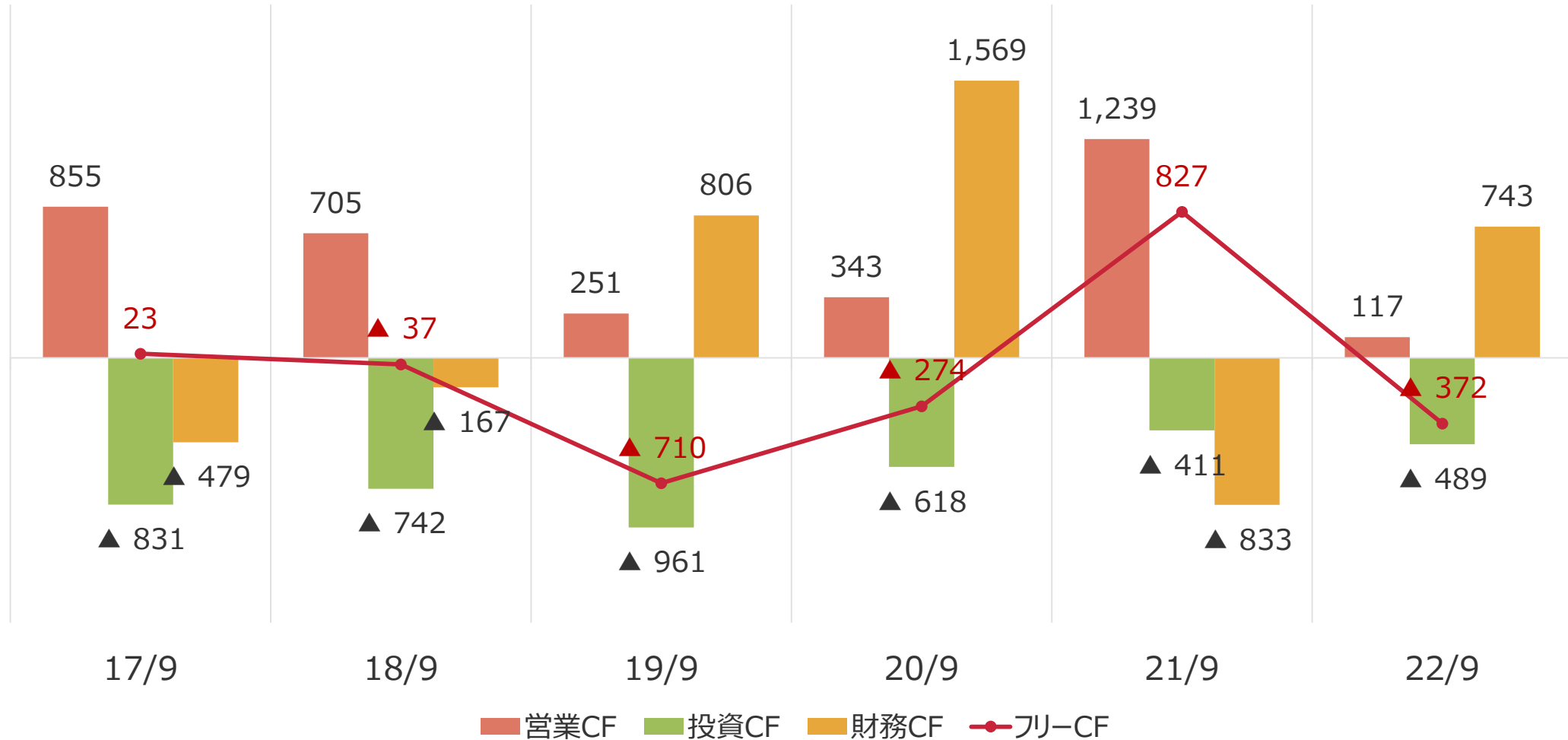


6. 23年3月期第2四半期 連結キャッシュ・フロー

TOKYOink

(単位：百万円)

- 前年度は十分な営業利益をベースに、事業投資を実施
- 当年度は当初見込みの営業利益を確保できず、フリー・キャッシュ・フローがマイナス



1. 東京インキについて
2. 連結業績ハイライト
3. 第2四半期連結業績予想と実績との差異
4. セグメントの概況
5. 通期連結業績予想の修正
6. その他連結決算情報
- 7. 株主還元**

8. 中期経営計画「TOKYOink 2024」について

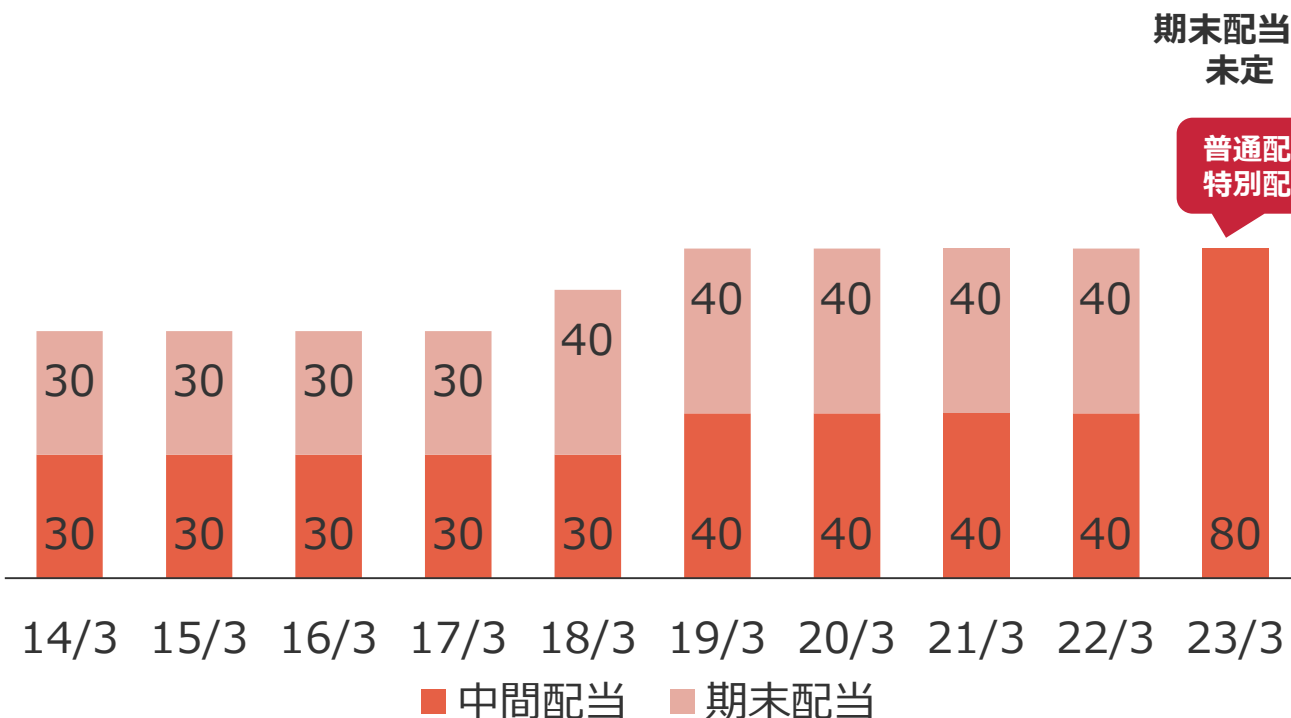
7. 株主還元

TOKYOink

(単位：円、%)

経営基盤の強化ならびに今後の企業価値向上へ向けた内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとし、安定かつ継続的に配当することを基本方針としております。また、中期経営計画「TOKYOink 2024」における配当方針として、配当性向30%以上を目標としております。

配当金 推移



中間配当

- 普通配当 1株当たり40円
- 特別配当 1株当たり40円
- 配当支払開始予定日 2022年12月2日

期末配当

- 親会社株主に帰属する当期純利益が未定、今後、配当方針を踏まえ公表予定(現時点では未定)

株主優待

- 毎年3月31日現在当社株式1単位(100株)以上を保有の株主様へオリジナルクオカード1,000円分、300株以上かつ3年以上保有の場合はさらにオリジナルクオカード1,000円分を贈呈

※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施
2017年3月期以前の配当金は遡及して修正



1. 東京インキについて
 2. 連結業績ハイライト
 3. 第2四半期連結業績予想と実績との差異
 4. セグメントの概況
 5. 通期連結業績予想の修正
 6. その他連結決算情報
 7. 株主還元
 - 8. 中期経営計画「TOKYOink 2024」について**
- 

TOKYOink 2024

本年4月より、当社の「**ありたい姿**」「**あるべき姿**」を原点とし、**求められるESG課題への対応を強化**することで、東京インキグループの成長を加速させるための中期経営計画を始動

半年を振り返って

想定以上の原油高および円安の進行などにより、原材料価格およびユーティリティコストが高騰した影響を受け、厳しい業績となった

中期経営計画 経営方針

1. 市場が求める価値の追求 とりわけ環境・社会に貢献する製品・サービスの提供
2. 低成長時代にも耐えうる高効率な運営体制の実現

基本戦略

1. ESG経営の推進
2. 新製品開発・新規事業探索
3. 高効率運営体制の実現
4. 成長投資
5. 資本効率 株主還元

主な検討中の取り組み

- ・ 環境負荷低減に貢献する製品開発
- ・ 再生可能エネルギー活用
- ・ 経営戦略と連動した人材戦略策定
- ・ BCP体制の全社構築
- ・ リスク管理およびコンプライアンス対応
- ・ 高効率運営体制実現に向けたRPAなどのITツール活用推進

中期経営計画目標達成に向け、今後も様々な取り組みを推進

【お問合せ先】

東京インキ株式会社 管理部門 理財部

TEL : 03-5902-7652

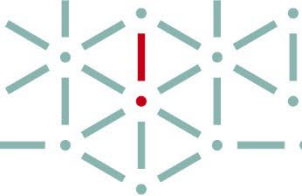
FAX : 03-5390-4937

E-mail : tic-ir@tokyoink.co.jp

<https://www.tokyoink.co.jp/>



参考情報

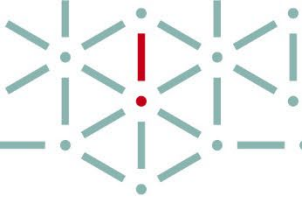


【参考情報】 23年3月期第 1 ～第2四半期 連結業績推移（前年対比）

TOKYOink

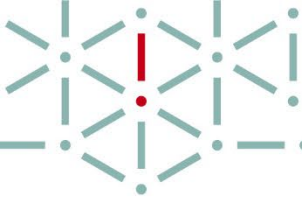
（単位：百万円）

	第 1 四半期		第 2 四半期		第 2 四半期累計期間	
	21/4～6	22/4～6	21/7～9	22/7～9	21/4～21/9	22/4～22/9
売上高	10,047	10,114	10,165	10,630	20,213	20,745
営業利益(損失)	284	▲ 90	165	▲ 18	449	▲ 109
経常利益	350	46	165	100	515	147
親会社株主に帰属する四半期純利益	200	40	211	73	411	113

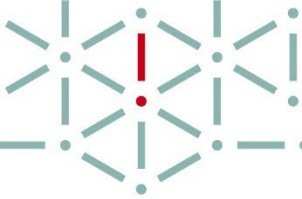


	売上高				セグメント利益(損失)			
報告セグメント	22年3月期 2Q 21/9	23年3月期 2Q 22/9	増減額	増減率 (%)	22年3月期 2Q 21/9	23年3月期 2Q 22/9	増減額	増減率 (%)
インキ事業	6,247	6,654	+406	+6.5	▲ 83	▲ 300	▲217	—
化成品事業	10,008	10,157	+148	+1.5	438	127	▲311	▲71.0
加工品事業	3,913	3,894	▲18	▲0.5	183	176	▲6	▲3.5
不動産賃貸事業	44	39	▲4	▲11.2	28	21	▲6	▲24.3
セグメント合計	20,213	20,745	+531	+2.6	566	24	▲542	▲95.6
全社費用他 ※					▲ 117	▲ 134	▲16	—
連結営業利益					449	▲ 109	▲558	—

※全社費用は主に事業セグメントに属さない一般管理費

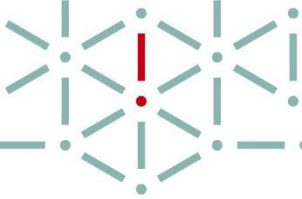


	第1四半期		第2四半期		第2四半期累計期間	
	21/4～6	22/4～6	21/7～9	22/7～9	21/4～21/9	22/4～22/9
インキ事業	3,055	3,243	3,191	3,410	6,247	6,654
化成品事業	5,102	4,937	4,905	5,219	10,008	10,157
加工品事業	1,866	1,911	2,046	1,983	3,913	3,894
不動産賃貸事業	22	22	22	17	44	39
セグメント合計	10,047	10,114	10,165	10,630	20,213	20,745

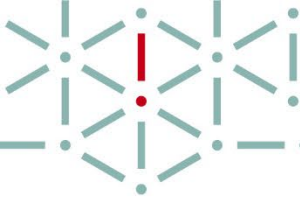


	第1四半期		第2四半期		第2四半期累計期間	
	21/4～6	22/4～6	21/7～9	22/7～9	21/4～21/9	22/4～22/9
インキ事業	▲ 29	▲ 140	▲ 53	▲ 159	▲ 83	▲ 300
化成品事業	264	74	174	52	438	127
加工品事業	92	26	90	150	183	176
不動産賃貸事業	14	14	14	7	28	21
セグメント利益	341	▲ 25	225	50	566	24
全社費用他 ※	▲ 57	▲ 64	▲ 60	▲ 69	▲ 117	▲ 134
連結 営業利益(損失)	284	▲ 90	165	▲ 18	449	▲ 109

※全社費用は主に事業セグメントに属さない一般管理費



	22年3月期末 22/3	23年3月期 2Q 22/9	増減額	増減率 (%)
流動資産	27,516	28,617	+1,101	+4.0
固定資産	19,793	19,582	▲211	▲1.1
有・無形固定資産	14,640	14,642	+2	+0.0
投資その他	5,153	4,939	▲213	▲4.1
資産合計	47,309	48,199	+890	+1.9
流動負債	16,322	17,809	+1,486	+9.1
固定負債	5,296	4,565	▲731	▲13.8
負債合計	21,619	22,374	+755	+3.5
純資産合計	25,690	25,825	+135	+0.5
(自己資本比率)	53.99%	53.25%	▲0.74	—
負債・純資産合計	47,309	48,199	+890	+1.9



摘要	22年3月期2Q 21/9	23年3月期2Q 22/9	増減額
I .営業活動によるキャッシュ・フロー(A)	1,239	117	▲1,121
II .投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	▲411	▲489	▲77
フリーキャッシュ・フロー(A+B)	827	▲372	▲1,199
III .財務活動によるキャッシュ・フロー	▲833	743	+1,576
現金同等物の期首残高	3,161	3,622	+460
現金同等物の期末残高	3,175	4,227	+1,051

- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めて頂くための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。
投資に関する決定は、ご自身のご判断と責任において行われるようお願いいたします。